

設計要件と活動のねらい

親性向上につながる家族対話とリフレクシオンを支援する

ファミリーポートフォリオ

要約

本研究では、親性の向上を支援するファミリー・ポートフォリオを構築する。親性とは、「自己への認識・親役割の状態・親役割以外の状態」と「子どもへの認識」から構成される。教育現場で用いられるポートフォリオの機能を援用し、「親性」向上をもたらし活動につながる機能を装備する。日常的に記録を取りためる際にはカテゴリー毎に登録し、定期的に振り返る機能として、「家族新聞」を発行する。一定期間の利用の前後に「親性尺度」の調査を実施し変化を検討する。

のこす

子どもの事、家族の事、自分自身の事等、記録を残す

誰の? (ユーザー)

どんな? (種類)

気持ち (評価)



お父さん・お母さん・子ども・家族全体等ユーザー情報を付加

子どものこと
育児に対する気持ち
自分自身のこと
その他

子どものこと・育児に対する気持ち・自分自身のこと等種類情報を付加



嬉しい・悲しい・反省等評価情報を付加

お気に入りの絵本を読む!



2015年09月22日 (水)
今日はあいにくの雨でしたが、花子は1人でお気に入りの絵本を読んで過ごしました。

みる

記録データが一覧で表示される。ユーザーごと、種類ごと、評価ごとに表示することができる。

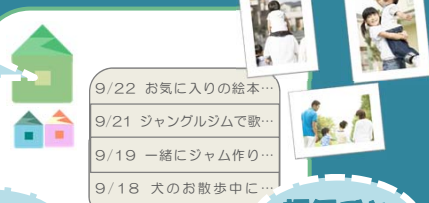
起動時と新聞印字時に、蓄積されているデータの集計が表示される。

ユーザー表示

種類ごと表示

評価ごと表示

集計表示



子どものこと	10件
育児に対する気持ち	3件
自分自身のこと	1件
その他	4件

😊	嬉しい	10件
😞	反省・次頑張る	5件
😭	悲しい・寂しい	1件
😡	怒った・怖い	3件

家族新聞

週に1回、データの付加情報を元に自動発行される。同時に家族対話のテーマも印刷され、新聞を見ながら1週間の出来事を確認する。



自己への認識

親役割の満足感、育児への関心、親役割獲得の期待、育児能力・態度・欲求
親として以外の自分への満足感、自己肯定・自己への欲求、社会との関係

子どもへの認識

子どもへの愛着、子どもの様子の理解、子どもの成長発達への理解、子どもとの関係

親として以外の自分への満足感、自己肯定・自己への欲求、社会との関係

本研究で支援する親性とは

株式会社エンタテインメント
今野知
佐藤朝美 愛知淑徳大学
佐藤慎一 日本福祉大学
荒木淳子 産業能率大学